

数理・
データサイエンス・
AI教育の紹介

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム (リテラシーレベル) プラス」選定校における 教育実践取組みの紹介 (その3)

内閣府、文部科学省及び経済産業省は、「AI戦略2019」の一環として、文理を問わず全ての大学・高専生（約50万人卒／年）が正規課程教育において、リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AIを習得することを目標に、体系的な教育を行う優れた教育プログラムを政府が認定及び選定して奨励するため認定制度を創設しました。

令和3年3月17日から5月14日までの間、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の公募において、大学、高等専門学校78件申請があり、78件認定されました。また、認定された教育プログラムの中から、先導的で独自の工夫・特色を有するものを「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）プラス」として11件が選定されました。また、認定有効権限、選定有効権限は、令和8年3月31日までとなっています。

本協会では、上記の「認定教育プログラム+（プラス）」11件の内、大学10件の取組みについて大学に協力を依頼し、提供いただいた教育実践などの取組みを順次（「その3」）などのように紹介することにしました。

なお、公募は、毎年度実施されており、令和4年度は5月20日に申請締切（17時）、8月中に認定及び選定となっています。

以下に「認定教育プログラム」及び「認定教育プログラム+(プラス)」の要件を掲載します。

認定教育プログラム (MDASH-Literacy)の主な要件

（「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）概要」より転載）

- ・ 大学、短期大学、高等専門学校の正規の課程
- ・ 学生に広く実施される教育プログラム（全学開講）
- ・ 具体的な計画の策定、公表
- ・ 学生の関心を高め、かつ、必要な知識及び技術を体系的に修得（モデルカリキュラム（リテラシーレベル）参照）
- ・ 学生に対し履修を促す取組の実施
- ・ 自己点検・評価（履修率、学修成果、進路等）の実施、公表
- ・ 当該教育プログラムを実施した実績のあること
（人文・社会科学等を含む複数学部等からの履修）

認定教育プログラム プラス (MDASH-Literacy+)の主な要件

（「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）概要」より転載）

- ・ 上記認定要件を満たすこと
- ・ 学生の履修率が一定割合以上
全学生の50%以上（3年以内に達成見込みも可）
- ・ 大学等の特性に応じた特色ある取組が実施されていること